



記者発表資料

「R3圏央道多古地区改良その3工事」「R3圏央道多古地区地盤改良工事」
「R3圏央道多古地区函渠他工事」において「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「余裕期間制度（フレックス方式）」の試行および「R3圏央道多古地区改良その3工事」において「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

工事発注において、入札参加者がいないことなどを理由として、入札・契約手続きのとりやめや不調が予測される工事について、不調不落対策の試行しております。

今回発注する「R3圏央道多古地区改良その3工事」については、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「余裕期間制度（フレックス方式）」の試行および「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

「R3圏央道多古地区地盤改良工事」、「R3圏央道多古地区函渠他工事」については、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」、「余裕期間制度（フレックス方式）」を試行します。

○「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

○「余裕期間制度（フレックス方式）」

発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と工期を合わせた期間）の中で、受注者が工事の始期と終期を決定します。受注者が決定した工事の始期から終期までが工期となり、受注者が決定した工事の始期までの間が余裕期間となります。

○「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在することにより、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

千葉国道事務所のホームページ、ツイッターでも道路情報が確認出来ます。

■千葉国道事務所ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/>

■公式ツイッター情報 https://twitter.com/mlit_chibakoku



ホームページ Twitter

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

電話 043-287-0311（代表）

副所長 みやがわ 宮川 ひてあき 英明 工務課長 ありうえ 有上 さとる 悟

《工事概要》

- (1) 工事名：① R3圏央道多古地区改良その3工事
 ② R3圏央道多古地区地盤改良工事
 ③ R3圏央道多古地区函渠他工事
- (2) 工事場所：① 千葉県香取郡多古町一鍬田～多古町間倉
 ② 千葉県香取郡多古町一鍬田地先
 ③ 千葉県香取郡多古町飯笹地先
- (3) 工期：①全体工期 契約締結日の翌日～令和4年2月28日
 ②全体工期 契約締結日の翌日～令和4年1月31日
 ③全体工期 契約締結日の翌日～令和4年9月30日
 「全工事共通」余裕期間制度（フレックス方式）
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：①②③ 一般土木工事 C
- (6) 工事内容：下記のとおり

①(1工区)	②地盤改良工	③地盤改良工
道路土工	サドマット工 920m ³	置換(RC40) 60m ³
掘削 990m ³	固結工 深層混合処理	カルバート工
路体盛土 46,000m ³	粉体噴射攪拌	函渠(コクリト) 1,139m ³
土砂等運搬 15,600m ³	径1,000mm 1,054本	鉄筋 131t
法面工	杭長17.05m	場所打擁壁工
植生マット 6,570m ²	仮設工 1式	逆T型擁壁 1式
舗装工 525m ²		帯鋼補強土留
擁壁工 23m ²		補強土壁面材
排水構造物工 1式		組立・設置 9m
仮設工 1式		仮設工 1式
①(2工区)		
道路土工		
掘削 34,300m ³		
土砂等運搬 34,210m ³		
路体盛土 140m ³		
法面工		
侵食防止用植生マット 3,340m ²		
植生マット 1,350m ²		
舗装工 下層路盤 1,826m ²		

《「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」について》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《「余裕期間制度（フレックス方式）」について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に①令和4年2月28日まで、②令和4年1月31日まで、③令和4年9月30日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《「施工箇所が点在する工事の積算」について》

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

《スケジュール》

「全工事共通」

- 入札公示、入札説明書 交付 : 令和3年 3月23日(火)
- 競争参加資格確認申請書 提出期限 : 令和3年 4月 9日(金)
- 入札書・工事費内訳書 提出期限 : 令和3年 5月12日(水)
- 開札日 : 令和3年 5月17日(月)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上